学校番号	４０３

令和５年度　公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂版　「政治・経済」（第一学習社）						
副教材等	政治・経済資料 2023（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済は生きた科目です。
政治も経済も人々の営みですから、予想が難しいことや、議論となっている点、矛盾などがあります。その中で、人々がよりよい社会を作るために発見し、あるいは作り上げた原理原則の中でも重要なものが政治経済の教科書で紹介されています。

２　学習の到達目標

・民主主義の本質について理論的・体系的に理解する。
・現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に理解するとともに，現実の情勢を主体的に探究する態度を身につける。
・現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに，国民経済の動向および，政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察する。
・国際社会の現状と諸課題について理解し，国際社会に生きる日本の役割について考察します。

以上の理解や考察を踏まえて，良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけます。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	政治・経済・国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求する姿勢をもつ。市民として、誠実に政治や社会の問題に関わり、平和で民主的な社会の実現に参加、協力する態度を身につける。	政治・経済・国際関係に関わる諸問題に関わる課題を見出し、理論的・客観的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	政治・経済・国際関係に関わるさまざまな情報を収集し、適切に選択して、効果的に活用する。	政治・経済・国際関係の、基本的な知識を持ち、総合的に理解する。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 ・発表	・授業態度 ・提出課題 ・発表	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	第2編　現代の経済	第1章　現代の経済のしくみと特質	①経済社会の発展 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 ④経済成長と景気変動	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a: 資本主義経済の特徴を，社会主義経済の特徴と比較しながら，現代経済の特質について理解する。 b: 家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのか理解する。 c: 独占，寡占状態の市場での消費者に対する影響と，その弊害を排除するための措置について理解する。 d: 国民所得の構成や景気変動，経済成長について，諸資料を利用して，日本と諸外国の現状を比較する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
			⑤物価の動き ⑥金融のしくみとはたらき ⑦財政のしくみとはたらき ⑧日本経済の歩み	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ 	a: 物価の変動要因を理解するとともに，物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 b: 金融のしくみや役割，日本銀行の金融政策，金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 c: 日本の財政の現状について，報道資料などから調査し，公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。 d:人々の生活が豊かになる一方で，公害などの社会問題が発生したことを認識する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
2		第1章　現代の経済のしくみと特質	⑨中小企業の地位と役割 ⑩農業の現状と課題 ⑪消費者問題 ⑫高度情報社会の進展と課題	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:大企業と中小企業の違いや日本経済において中小企業が果たしている役割について理解する。。 b：日本の農業が直面している課題について理解する。 c：クレジットやローンなどが日常生活で果たしている役割と，多重債務問題について理解する。 d：情報化が政治・経済・国民生活に及ぼす影響や，高度情報社会の課題について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 ・発表

			⑬労働問題 ⑭社会保障制度の充実 ⑮環境保全と資源・エネルギー問題	○ ○ 	 ○	○ ○ ○	 ○	a: 労働基本権と労働三法の基本的内容とその意義を理解する。 b：メディアを利用して，若年層・女性・中高年・障害者・外国人労働者など最近の労働問題をさまざまな視点で調査する。 c：化石燃料・原子力発電・新エネルギーのそれぞれの違いとメリット・デメリットを理解する。 d：深刻化している地球的規模の環境問題に関心をもち，どのように乗りこえるべきか考察する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
3		第4章　国民経済と国際経済	①国際経済のしくみ ②国際協調と国際経済機関の役割 ③地域的経済統合 ④グローバル化する経済 ⑤南北問題と日本の役割	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a: 国際収支の基本的な構成を把握しながら，経済摩擦の要因である不均衡が生じる原因について理解する。 b: 為替相場のメカニズムについて把握しながら，円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。 c: グローバリゼーションにともなうヒト，モノ，カネの国際的な移動が，国際経済に与える影響について，関心を高める。 d: 先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら，日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 ・発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。